

2022 年度講義（前期）『航空宇宙法』の概要

講義年度	2022 年度 前期（水曜 10:10-11:40）
講義名	航空宇宙法
講師/所属	高屋友里（東京大学 未来ビジョン研究センター 客員研究員）
講義概要 又は目的	空域および宇宙空間（天体を含む）における活動に対する国際法上の視点を得るため、本講義では、まず適用される国際法として「国際航空法」および「国際宇宙法」の基礎を学び、つぎに最新の宇宙ミッションを念頭に、宇宙空間の民生利用・商業利用・軍事利用において生じる法的課題を考察する。
講義内容	第1回 講義ガイダンス 第2回 航空法の基礎 第3回 航空公法：シカゴ体制 第4回 航空私法：ワルソー体制 第5回 宇宙法の基礎①：宇宙条約 第6回 宇宙法の基礎②：宇宙救助返還協定 第7回 宇宙法の基礎③：宇宙損害責任条約と宇宙物体登録条約 第8回 宇宙法の基礎④：月協定と宇宙資源 第9回 宇宙の民生利用：月面有人活動と原子力電源（NPS）の利用 第10回 宇宙の商業利用：宇宙資源ビジネス～利用か専有か 第11回 宇宙の商業利用：宇宙デブリ 第12回 宇宙の軍事利用：GNSS・ミサイル防衛・対衛星破壊（ASAT）実験 第13回 宇宙の軍事利用：宇宙軍拡競争回避（PAROS）と透明性・信頼醸成措置 第14回 宇宙の軍事利用：サイバーセキュリティと国際電機通信連合（ITU） 第15回 （補講） 
講義に関する 特記事項 （準備事項等）	- 第1回講義ガイダンスにおいて詳しく参考文献を紹介するが、一般的な国際法の教科書における「空域」および「宇宙空間」の項目を参照とすることを勧める。 - その他入門書として： 小塚総一郎・佐藤正彦（編）『宇宙ビジネスのための宇宙法入門』（有斐閣、2015年）
講師略歴	学歴： 早稲田大学法学部（国際機構法ゼミ）を卒業後、2001年に蘭ライデン大学大学院 国際航空宇宙法研究所にて修士号（LL.M.）を取得。2010年に仏パリ第11大学大学院 宇宙衛星通信法研究所（IDEST）にて博士号（Ph.D.）を取得。在学中に国連宇宙部においてインターンシップを経験。博士論文の研究のため、2005年に米国ジョージワシントン大学・宇宙政策研究所へ、2006年に韓国防衛大学へ招聘研究員として短期留学をする。2017年に国際法ハーグアカデミー内の研究センター（Centre for Studies and Research）が主催する宇宙法プロジェクトに招聘研究者として参画（宇宙資源の項目を担当執筆）。 教歴： 2011年度より神戸大学大学院法学研究科の学術研究員となり、2014年度より同大学で国際宇宙法の非常勤講師を兼任（～2017年度）。2017年度より東京大学公共政策大学院の講座「宇宙開発と公共政策」において宇宙法の講義を担当。 主な研究テーマ： 宇宙安全保障、宇宙資源探査、サイバーセキュリティ

